

# 2023年10月期 第1四半期決算説明資料

株式会社AB&Company

(証券コード：9251)

# 2023年10月期 第1四半期実績 サマリ

売上収益は前年同期比+44%、営業利益は+104%となった。

新型コロナ影響の低減に加え、前期のFC2社買収も寄与（買収影響額は売上収益：+779百万円、営業利益：+33百万円）。

売上収益 前年同期比（増減）

3,890百万円 +44%

営業利益 前年同期比（増減）

397百万円 +104%

（単位：百万円）

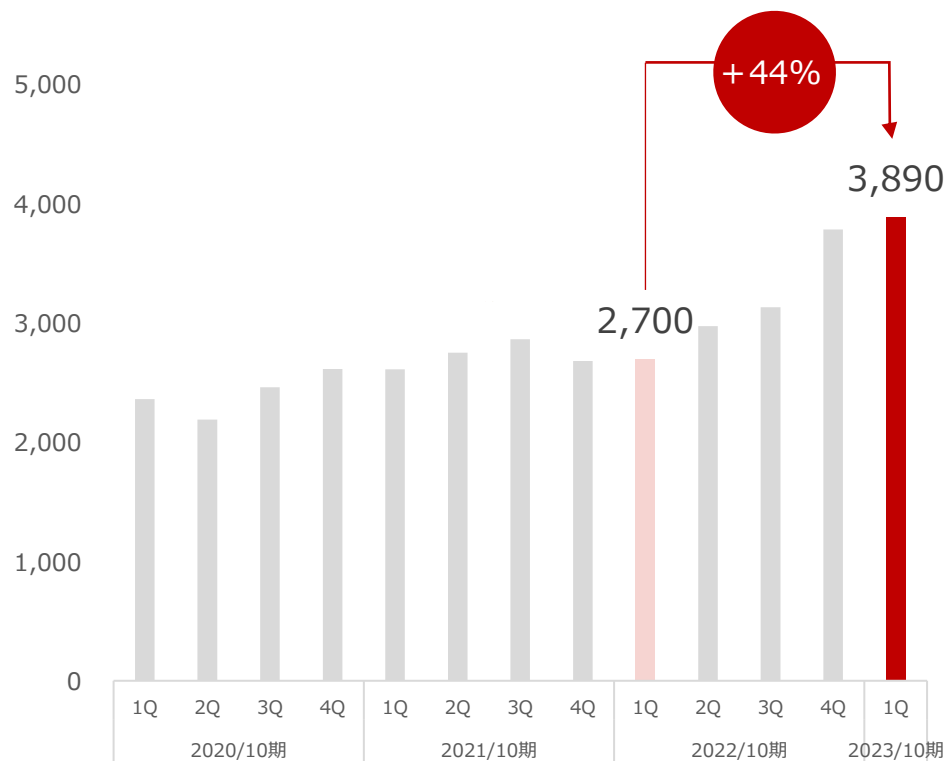
	1Q		
	2022/10期	2023/10期	増減 (%)
売上収益	2,700	3,890	44%
売上原価	1,344	1,992	48%
売上総利益	1,356	1,897	40%
販管費	1,138	1,509	33%
その他収益	9	10	7%
その他費用	32	1	▲92%
営業利益	194	397	104%
税引前利益	172	357	107%
当期利益	116	242	109%
調整後EBITDA*	320	542	69%

\*調整後EBITDAはEBITDAから「使用権資産の減価償却費」を差し引いて算出（使用権資産の減価償却費は実質的な家賃に相当するため）

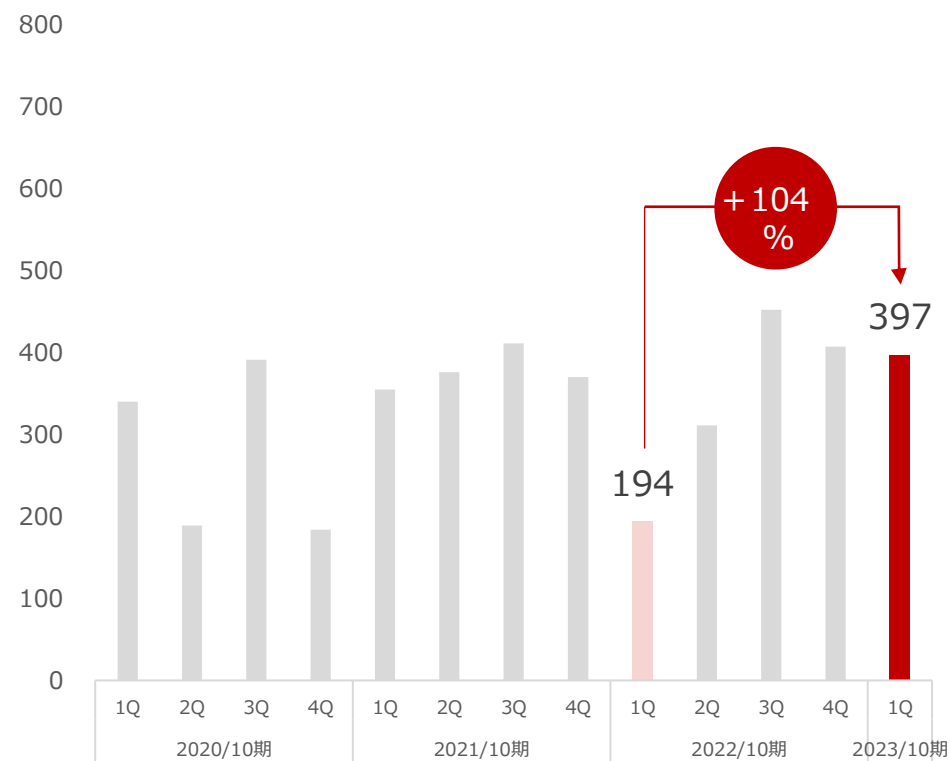
# 2023年10月期 第1四半期実績（四半期推移）

(単位：百万円)

## 売上収益 四半期推移



## 営業利益 四半期推移



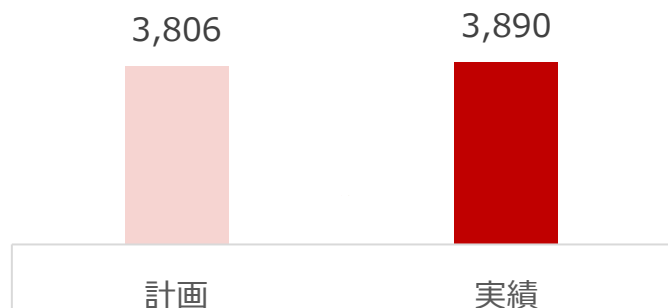
# 2023年10月期 第1四半期実績（計画対比）

計画対比においても進捗は良好（当期の四半期毎の売上収益・営業利益計画は2022年10月期決算説明資料（2022年12/15開示）P2にて開示済）

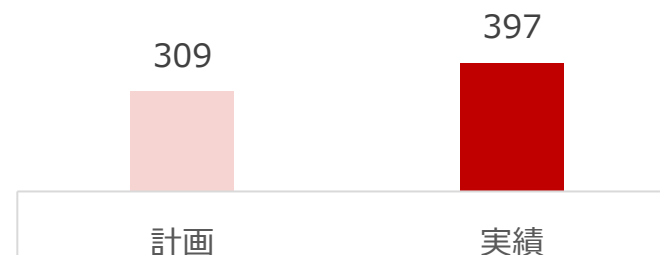
2023年10月期  
第1四半期  
計画対比

（単位：百万円）

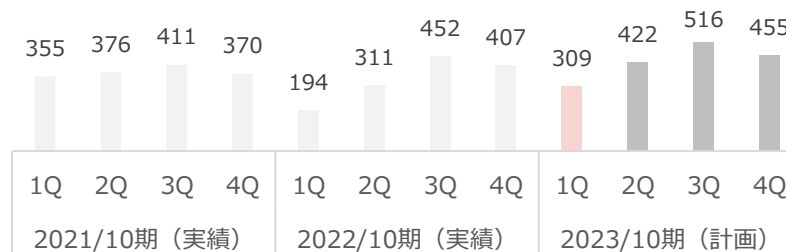
売上収益



営業利益



過去実績と  
2023/10期計画

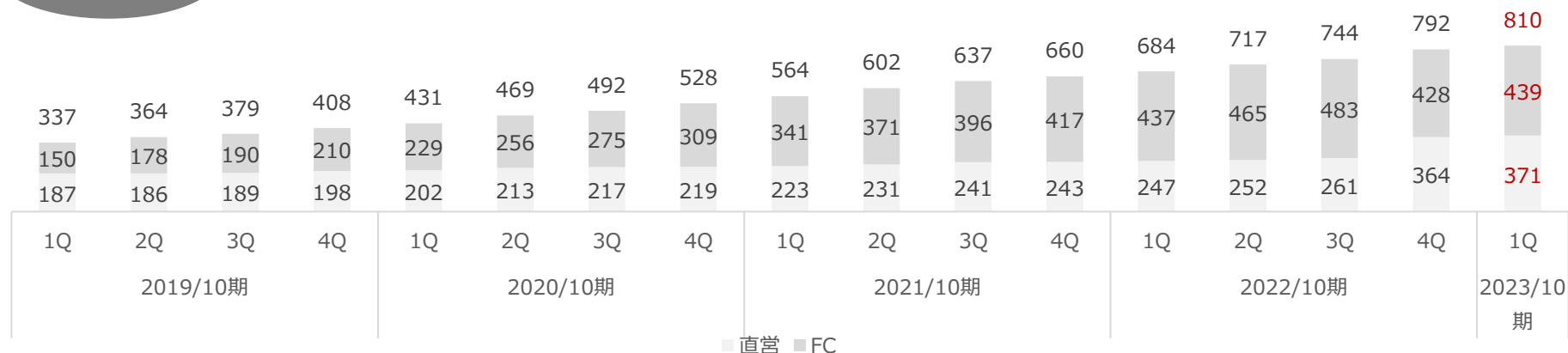


# 国内店舗数 推移

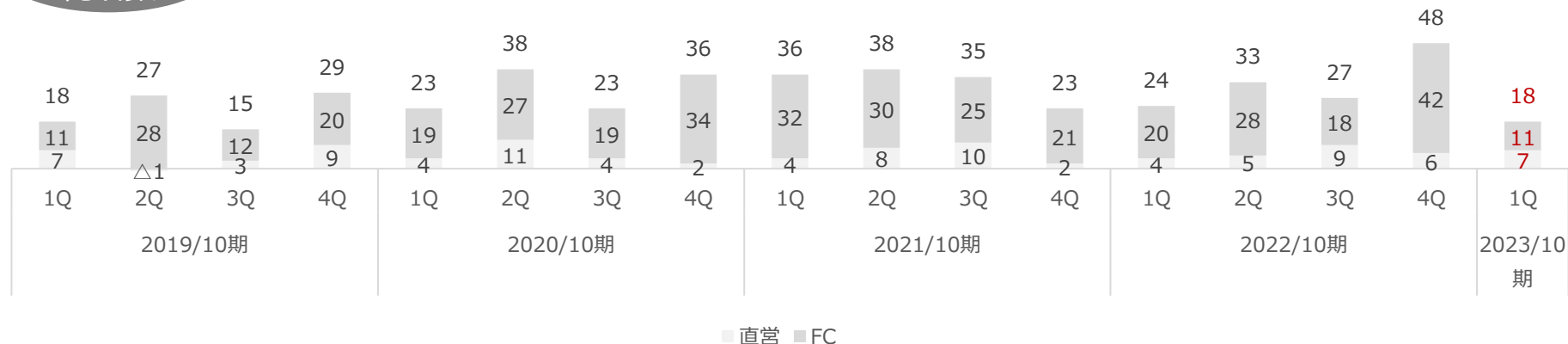
店舗数：国内店舗数は800店舗を突破

店舗純増数：前四半期（2022/10期 4Q）の大量出店の影響から、当四半期の店舗純増数は18に留まる

## 店舗数



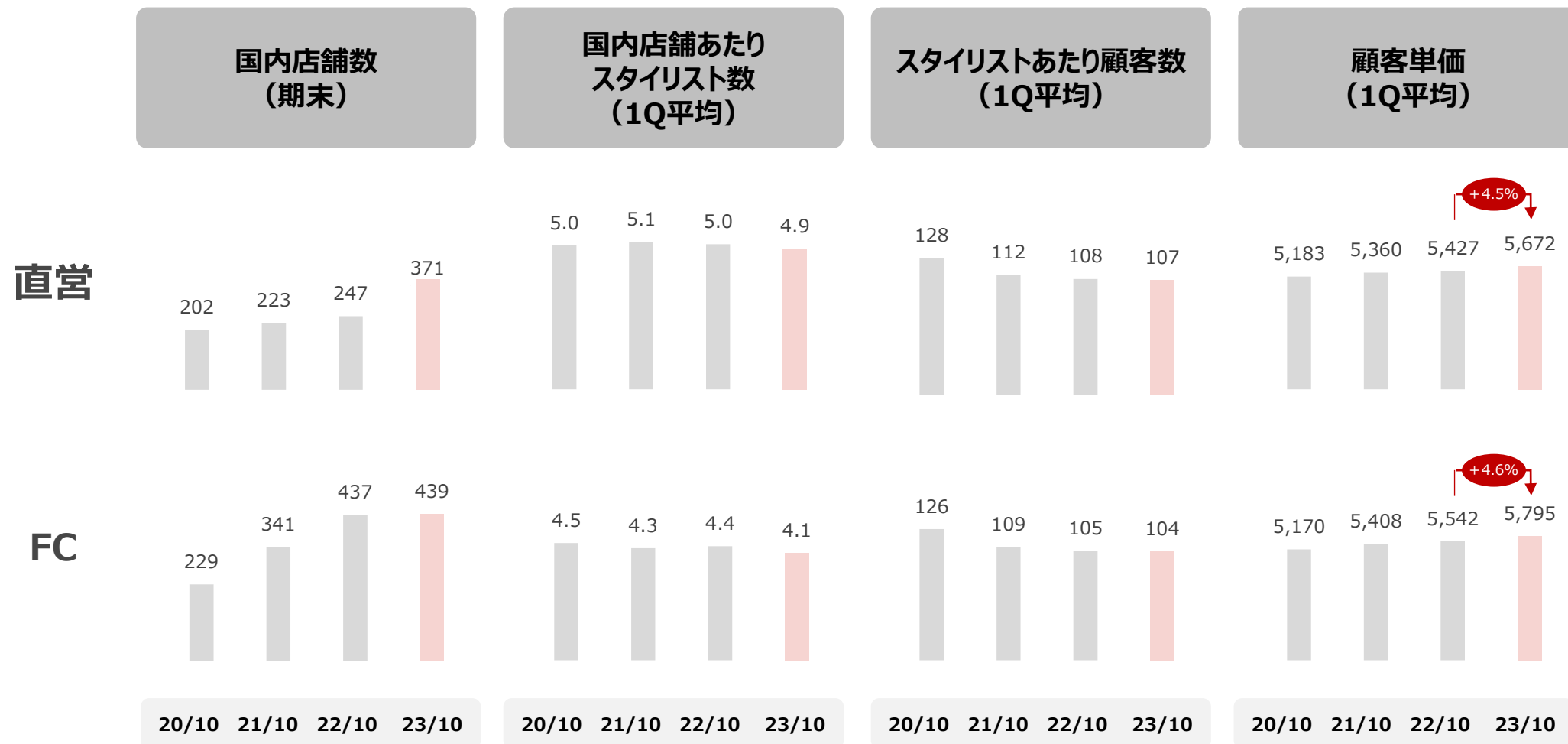
## 店舗純増数



# 店舗売上KPI 実績推移 (1Qベース)

顧客単価の前年比伸長が顕著 (直営: +4.5%、FC: +4.6%)。

メニュー (施術内容、単価) の見直しを部分的に実施することで平均顧客単価が上昇。



# 事業セグメント

美容室運営 HAIR SALON Agu.

直営美容室運営  
事業



直営店舗の運営

フランチャイズ  
事業



FC店舗の  
運営サポート

インテリアデザイン

インテリアデザイン  
事業



美容室を中心とした  
店舗デザイン、設計、施工

# 2023年10月期 第1四半期 セグメント概況（前年同期比）

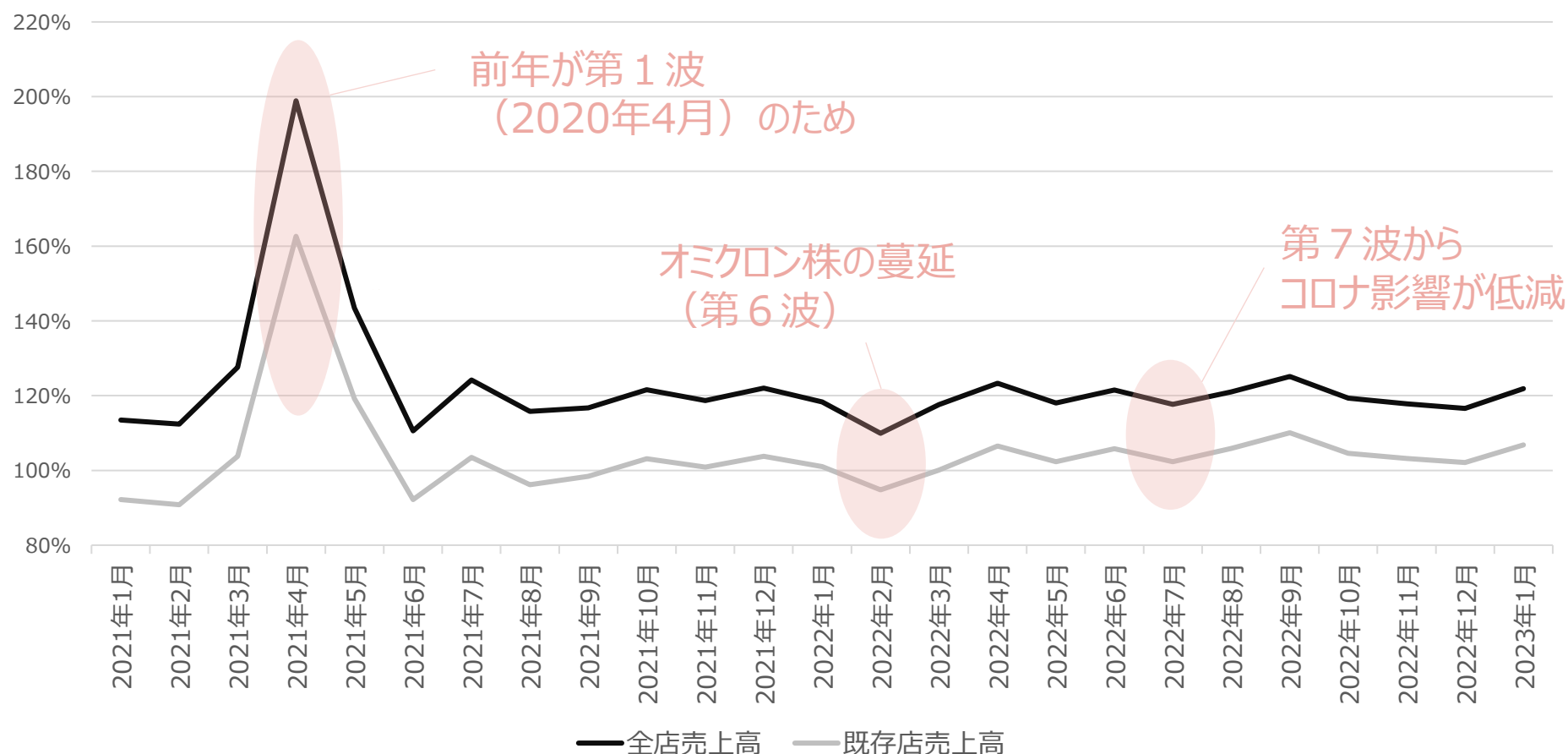
	直営美容室運営事業			フランチャイズ事業			インテリアデザイン事業		
	2022/10期	2023/10期	増減率	2022/10期	2023/10期	増減率	2022/10期	2023/10期	増減率
売上収益	2,182	3,298	51.1%	466	529	13.6%	317	427	34.6%
└ 外部売上	2,182	3,298	51.1%	302	302	▲0.1%	215	289	34.6%
└ セグメント間売上	0	0	0.0%	163	227	39.3%	102	137	34.5%
売上原価	1,248	1,903	52.4%	33	34	3.1%	246	321	30.3%
売上総利益	934	1,395	49.4%	432	495	14.5%	70	105	49.4%
売上総利益率	42.8%	42.3%	▲0.5	92.8%	93.5%	0.7	22.3%	24.7%	2.5
販管費	968	1,325	36.9%	267	284	6.5%	60	80	32.8%
その他収益	3	2	▲30.5%	6	7	27.5%	0	0	13.8%
その他費用	24	2	▲89.9%	10	0	▲99.8%	0	0	-
セグメント利益	▲55	70	-	161	218	35.1%	10	25	148.7%
セグメント利益率	▲2.5%	2.1%	4.7	34.7%	41.3%	6.6	3.2%	5.9%	2.7
概況	<ul style="list-style-type: none"> <li>FC2社の連結子会社化（2022/8末）の影響（+779百万円）を主要因として、大幅増収</li> <li>新型コロナウイルスの影響が低減し、店舗あたり売上が増加</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>FC2社の連結子会社化の影響によりセグメント間売上が増加し、外部売上は微減</li> <li>販管費の増加を抑制し、セグメント利益率が改善</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>直営/FCの出店数は限定的であったが、グループ外の案件受注が増加したことから増収増益</li> </ul>		



# 全店・既存店 店舗売上高（前年同月対比）

全店売上高：直近1年間は120%程度で推移

既存店売上高：2022年2月にオミクロン株の影響で前年割れとなって以降は100%超が継続



# BS概況 (IFRS)

(金額単位：百万円)

	2022/10期 末	2023/1Q 末	増減
現金及び現金同等物	1,941	2,256	315
営業債権及びその他の債権	757	642	▲ 114
棚卸資産	71	180	108
その他の流動資産	408	409	1
<b>流動資産合計</b>	<b>3,179</b>	<b>3,488</b>	<b>309</b>
有形固定資産	1,388	1,404	15
使用権資産	4,609	4,650	41
のれん	8,502	8,502	0
無形資産	4,403	4,401	▲ 2
持分法で会計処理されている投資	0	0	0
その他の金融資産	525	537	12
繰延税金資産	412	412	▲ 1
その他の非流動資産	32	32	0
<b>非流動資産合計</b>	<b>19,874</b>	<b>19,941</b>	<b>67</b>
<b>資産合計</b>	<b>23,053</b>	<b>23,430</b>	<b>376</b>

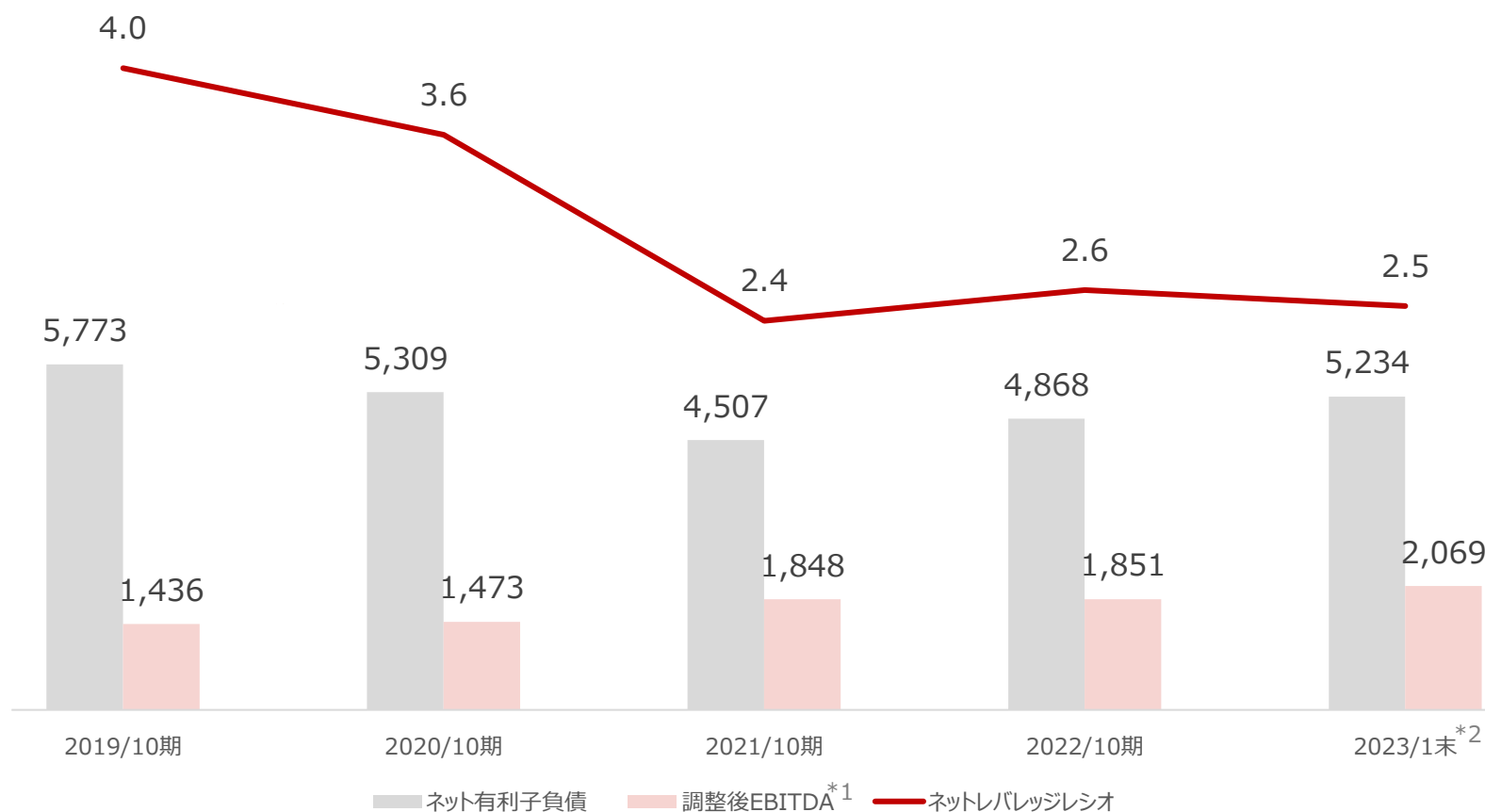
	2022/10期 末	2023/1Q 末	増減
営業債務及びその他の債務	941	900	▲ 41
契約負債	31	63	33
借入金	1,029	1,765	735
リース負債	1,341	1,360	19
未払法人所得税等	285	121	▲ 164
その他の流動負債	453	421	▲ 31
<b>流動負債合計</b>	<b>4,082</b>	<b>4,632</b>	<b>550</b>
借入金	5,780	5,725	▲ 55
リース負債	3,204	3,231	27
引当金	727	739	12
繰延税金負債	1,348	1,348	0
その他の非流動負債	0	0	▲ 0
<b>非流動負債合計</b>	<b>11,061</b>	<b>11,044</b>	<b>▲ 16</b>
<b>負債合計</b>	<b>15,143</b>	<b>15,677</b>	<b>534</b>
資本金	169	183	13
資本剰余金	4,977	4,991	13
利益剰余金	2,754	2,576	▲ 178
その他の資本の構成要素	7	2	▲ 5
<b>親会社の所有者に帰属する持分合計</b>	<b>7,910</b>	<b>7,752</b>	<b>▲ 157</b>
<b>資本合計</b>	<b>7,910</b>	<b>7,752</b>	<b>▲ 157</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>23,053</b>	<b>23,430</b>	<b>377</b>

※IFRSを採用していることから、将来に渡って支払う予定の家賃を当該物件を使用する権利とみなし、「使用権資産」(資産側)、「リース負債」(負債側)としてBSに計上されている

# 借入指標：ネットレバレッジレシオ（ネット有利子負債÷調整後EBITDA）

当四半期末においてもネットレバレッジレシオは2倍台と適正範囲内

（金額単位：百万円）



\*1 調整後EBITDAはEBITDAから「使用権資産の減価償却費」を差し引いて算出（使用権資産の償却費は実質的な家賃に相当するため）

\*2 2023/1末の調整後EBITDAは直近12か月ベースで算出

# キャッシュフロー計算書

(金額単位：百万円)

	2022年10月期 1Q累計	2023年10月期 1Q累計
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期利益	172	357
減価償却費及び償却費	371	486
営業債権及びその他の債権の増減	122	114
法人所得税の支払額	▲ 366	▲ 267
その他	▲ 24	▲ 135
	275	555
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	▲ 48	▲ 148
無形資産の取得による支出	▲ 37	0
差入保証金の差入による支出	▲ 33	▲ 16
その他	▲ 3	▲ 2
	▲ 122	▲ 166
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額	0	733
長期借入金の調達による収入	0	0
長期借入金の返済による支出	▲ 18	▲ 56
リース負債の返済による支出	▲ 250	▲ 352
支払配当金	0	▲ 421
株式の発行による収入	32	26
	▲ 236	▲ 71

## IFRS適用による留意点

- IFRS基準では実質的な家賃（使用权資産の償却）が減価償却費に含まれております

(2023年10月期1Qの実質家賃：324百万円)

- 実質的な家賃支払いに伴うキャッシュアウトは「リース負債の返済」として計上されております

# **【APPENDIX】**

# 会社概要

## 代表取締役



市瀬 一浩

2003年に山野美容専門学校を卒業後、青山の美容室にてスタイリストとして勤務を開始。低賃金・長時間労働が常態化する美容室業界に疑問を抱き、業界変革を目指して2009年に独立、当社を創業。

## 企業理念

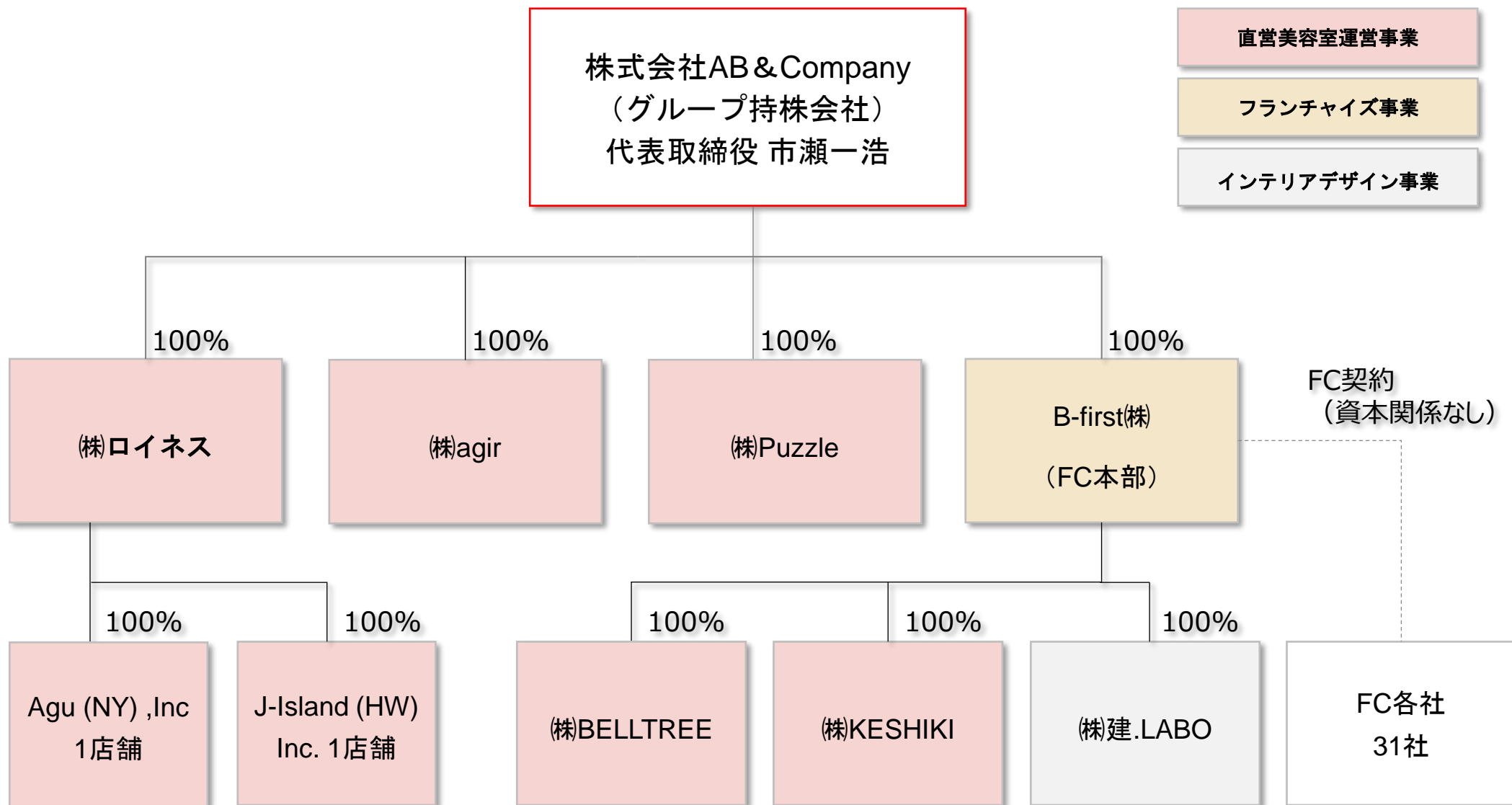
**「スタイリストファースト」を信念にお客さまに幸せと喜びを提供します**

美容室業界の課題であるスタイリストの長時間労働、低賃金、高離職率を是正し新たなキャリアデザインを創造することでスタイリスト自身の喜びに繋げることが、より良いサービスの提供、延いてはその先のお客様の幸せに繋がると考えます。

## 事業概要

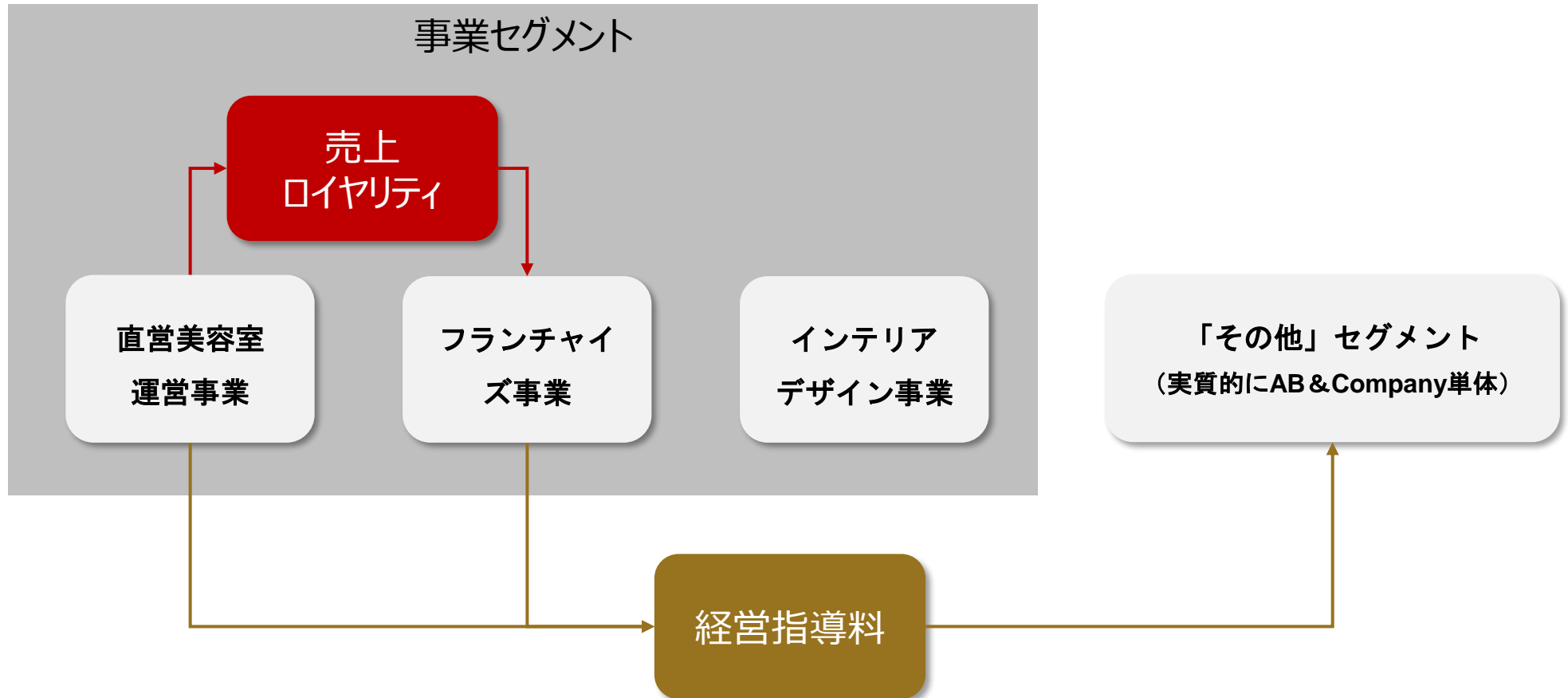


# AB & Companyグループ構成図



# 【参考】セグメント構造

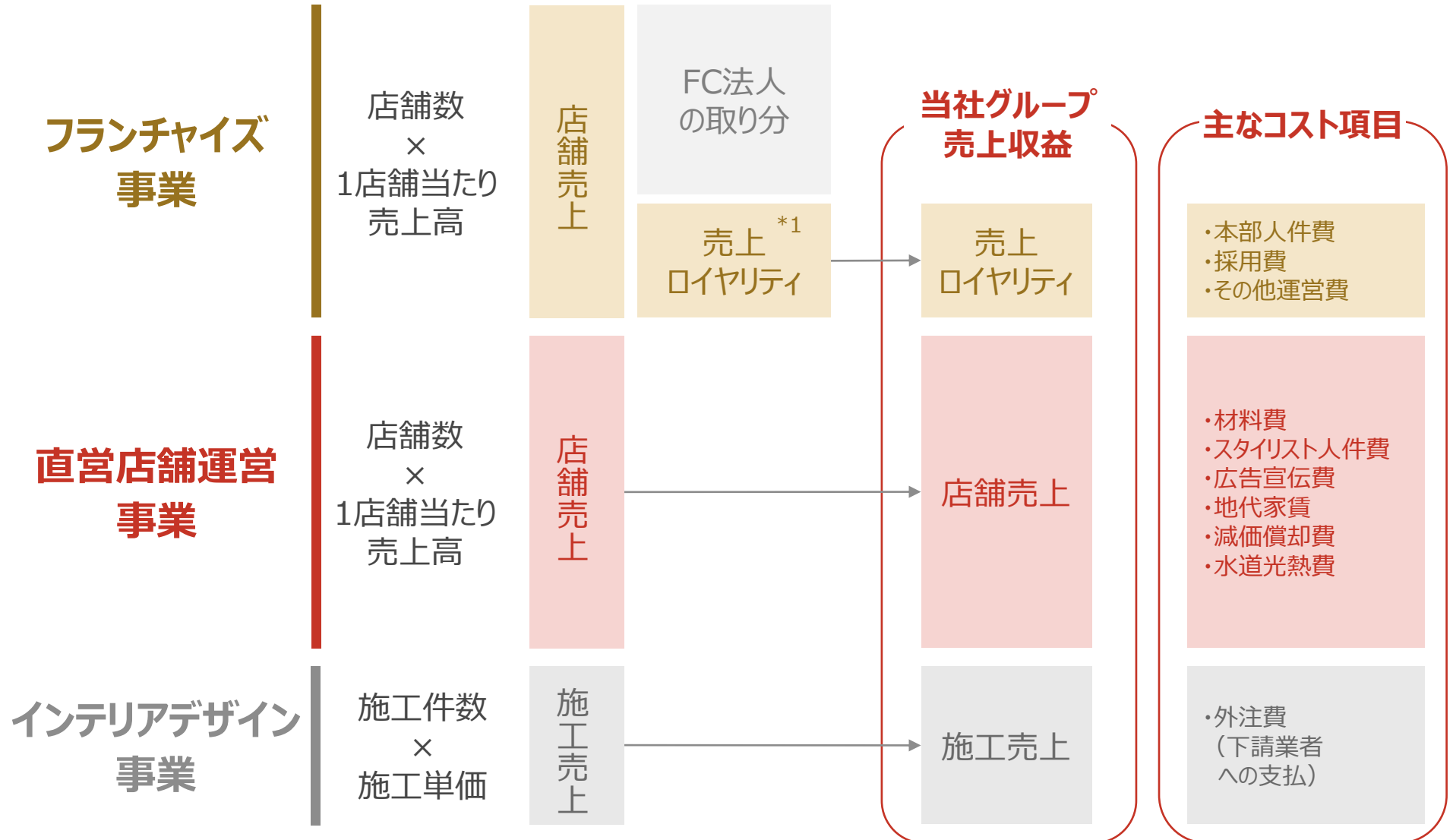
- 直営美容室運営事業からフランチャイズ事業に売上ロイヤリティを、また、それらの2事業から「その他」セグメントに経営指導料を支払っている \*1



\*1 連結グループ内取引であるため、連結ベースでの財務数値には影響を与えない



# セグメント毎の収益モデル



\*1 フランチャイズ事業の売上収益は売上ロイヤリティに加え、「その他収入」(仕入代行・記帳代行・POSリース・スタイリスト採用代行等。概ね店舗数と連動)で構成される。

# 2023年10月期 連結グループ通期業績計画

新規出店（135店舗純増）及び前期のFC2社の株式取得（直営化）により売上収益で+33%の増収、営業利益で+25%の増益を計画

（単位：百万円）

	2022/10期		2023/10期		
	実績		計画		
	実数	売上比率	実数	売上比率	前年比増減
売上収益	12,592	100%	16,762	100%	33%
売上総利益	6,157	49%	8,041	48%	31%
販管費	4,808	38%	6,321	38%	31%
営業利益	1,365	11%	1,703	10%	25%
税引前当期利益	1,284	10%	1,579	9%	23%
当期利益	830	7%	1,020	6%	23%

# 2023年10月期出店計画

2023年10月期は過去最高の135店舗の新規出店（純増ベース）を計画

